

## 札幌こども職業体験イベントに北自協が参加

札幌市などの主催で行っている小学生3・4年生向けの職業体験イベント「こどものまち ミニさっぽろ」が10月3日、4日の2日間、アクセスサッポロで開かれ延べ4千人の児童が参加しました。



このイベントは小学生が疑似職業体験を通じて働く楽しさや社会の仕組みなどを学ぶ催しとなっており、建設ゾーン・官公庁ゾーン・商店街ゾーン・オフィスゾーン・カルチャーゾーン・ステージゾーンに59企業・団体が出典し、子供たちはそれぞれのブースで仕事をして、ドレー（疑似通貨）で給料を受け取り、会場内のお店で買い物ができます。



北海道自動車処理協同組合では商店街ゾーンに出店をし、2日間で約500人の子供たちに仕事をしてもらい、給料を払いました。



仕事の内容は「自動車リサイクル処理」として、エンジンコンピューター単体をドライバーで分解してケース・ネジ・基板の3つを磁石で確認をしながら、鉄・アルミ・基板に仕分けてもらい、その後組立作業も行ってもらいました。どの子供たちも使った事のないドライバーに悪戦苦闘しながらも、真剣な表情で分解・組立に挑戦していました。

1回30分で定員15名を事業部担当理事などが、やさしく子供たちに説明などを行い怪我のないよう見守り、2日間は無事に終了いたしました。

この活動を通して自動車に興味を持つきっかけ作りや、リサイクル処理という分野を少しでも子供たちに知ってもらう活動として、今後も継続的に参加していきたいと思っております。